

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第788号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円(会費を含む))

●発行日—令和5年9月1日

●発行所—社団法人北海道手をつなぐ育成会

〒060-0002 札幌市中央区

北2条西7丁目かでの2・7(4F)

電話 011-251-0855

FAX 011-251-0804

Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp

●発行人—佐藤春光

印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

第68回北海道手をつなぐ育成会全道大会小樽大会・第29回本人大会

参加者625名

会場357名・オンライン29ヶ所118名・
思い出観光97名・チャレンジド53名

子どもを育てるには、村中の大人の知恵と力と愛が必要

記念講演

社会福祉法人麦の子会 理事長 北川 聡子氏

8月6日(日)小樽市民センター・いなきたコミュニケーションセンターを会場に標記の大会が開催されました。

「北海道善行賞」「道育成会会長表彰」が執り行われました。
(表彰者は道育成会HPにてご紹介中)



『記念講演』は社会福祉法人「麦の子会」理事長の「北川 聡子氏」です。本年、広島大学「第31回ペ

スタロッチー教育賞」を受賞され話題となりました。過去には山田洋次監督や黒柳徹子さんらが受賞しています。全国手をつなぐ育成会(全育連)では「国際委員会」に所属され、月刊誌「手をつなぐ」の編集委員もお務めです。

講演では、標題にあるアフリカのこ
とわざを「麦の子」の療育基本方針と
し、障がいがある子も、ない子もかけ
がいのない大切な命と捉え、困り感を
抱えた子ども一人ひとりの尊厳の回
復、生きる基礎を支えるための家族支
援、地域支援に取り組んできたこと。
40数年前、4人から始まった支援活動
が現在、500名以上の職員を抱える
事業に発展し、その3分の1が元利用



(迫小樽市長)

講演では、標題にあるアフリカのこ
とわざを「麦の子」の療育基本方針と
し、障がいがある子も、ない子もかけ
がいのない大切な命と捉え、困り感を
抱えた子ども一人ひとりの尊厳の回
復、生きる基礎を支えるための家族支
援、地域支援に取り組んできたこと。
40数年前、4人から始まった支援活動
が現在、500名以上の職員を抱える
事業に発展し、その3分の1が元利用

者やその保護者であるとのこと。ニー
ズに基づく支援は肯定的に関わること
を重視しつつ、個々の弱さや悩みを受
け止める安全な場(グループカウンセ
リング、自助グループ)づくりの必要
性を強調されました、今後の育成会活
動にも沢山のヒントをいただきました。

午後からは新
たに全育連顧問
に就任された久
保前会長の『中
央情勢報告』に
続き、『シンボ
ジウム』のコー
デイナーに同
事務局長の又村
氏をお招きし、
福祉施設や相談
機関、養護学校
からシンポジ
スト3名による好



事例を中心とした報告です。限られた
時間ではありましたが質の高い、そし
て様々に工夫をされた実践は非常に参
考となる内容でした。

『閉会式』は次期開催地の函館市よ
り、函館手をつなぐ親の会、相馬会長
のご挨拶。そして、両大会の決議が満
場の拍手で承認され、新たな思いを胸
にし、大会日程の全てを終了しました。

全道の仲間と交流、 会場がひとつに！

総合司会是小樽出身「札幌吉本」所属の大林宣裕さん、『開会式』に続き、午前の部の『シンポジウム』が案内されました。吉田さん・金子さん・蛸星さんの3名による司会進行で、大会テーマの『コロナ禍だからこそ、仲間と共に支えあい輝ける未来を』に沿って、シンポジストの3名よりそれぞれに発表がありました。

旭川働く仲間の会の岡田さんは「コロナでの生活の変化とこれからの生活」、名寄陽だまり本人部会の澤田さんは「コロナ後にやりたいことと本人部会について」、函館いかす会の四村さんは「コロナ禍で起きた人権侵害について」、それぞれの現状と今後の活動・希望する事を発表し、会場やオンラインの方々と質疑応答を行いました。皆さんの関心は、それぞれの本人会の活動内容や、戻ってきた日常生活



の事、そしてあすなろ福祉会の問題、特に結婚・子育てについてはたくさん意見が飛び交いました。これといった解決策は難しいのですが「自分の意見が言える」「支援者と話をして自分の思いを伝えていく」そうした環境づくりが大事なのだと、皆さんの思いが表れたシンポジウムになりました。

同時に別会場では『チャレンジ』が行われ、音楽療法師の近藤ひとみさんのピアノに合わせて、ハンドベルや太鼓など、参加者は色々な楽器を思い思いに演奏していました。近藤さんの「楽器はどんなふうにしても音が出るんだよ」と皆に伝えていたのが、とても印象的でした。



お昼を挟み、午後の部の『全道からのビデオレター』では、「私の自慢・誇りに思っている事」のテーマにそって、全道から寄せられたビデオを視聴。普段の作業風景・本人会活動の紹介・自分の頑張っていることなどが紹介されました。会場からはビデオへの質問や感想、思い思いに自由な発言がなされ、ビデオレターの目的でもある「交流」が自然に生まれました。後半は小樽水族館ツアーの『思い出観光』

から帰ってきた皆さんと、『音楽療法』『会場のみなさんと一緒に』が始まり、なんとスパイファミリーのロイドとアーニャが登場！道内で活動しているコスプレイヤーの松野・瑠鳥さん・タジマホノカさんがアニメソングで会場を盛り上げてくれました。

続いて音楽療法を担当いただいた近藤ひとみさんが再登場。ウォーミングアップ曲「幸せなら手をたたこう」から、「365日のマーチ」となりのトトロさんぽ」を掛け合わせたアレンジ曲を演奏。また最後には舞台前に用意した、鈴・タンバリン・ジャンベ（太鼓）などの楽器を参加者が手に取り、全員で「上を向いて歩こう」「ソーラン節」「手のひらを太陽に」を演奏。音楽の力で会場が見事に一体となった時間でした。



『閉会式』本人大会の決議文は会場に来れない方々を含め、道内14の本人会が協力し、各項目を分担、事前撮影したビデオによる提案でした。動画終了と同時に満場の拍手で議決され、引き続き仲間と共に訴え続けて行くことを誓い、小樽大会は盛会のうちに閉会しました。



「親なきあとの不安」会員の声受け議論、この夏完成！ 親と子が入れる「合同墓」

7月23日(日)札幌市手をつなぐ育成会が建立した合同墓「共に」の完成披露会及び、奈須野元会長の納骨式が執り行われました。夏空の下、会場である5万基のお墓が並ぶ「真駒内滝野霊園」には、ご来賓として札幌市保健福祉局障がい保健福祉部長、成澤元宏様をはじめ、70名もの会員が参列し、式を見守りました。



すでに北海道新聞や、TVHなどの報道機関で、当日の様子や、完成に至る経過などが報道されていますが、改めて、札幌手をつなぐ育成会（道手をつなぐ育成会副会長）の長江会長にお話を伺いました。

当会では平成23年度に「親は子どもに何を残せるか」という勉強会を開催、これをきっかけに学習会を重ねる中で、平成27年秋頃、理事会において「会員及び、その家族である知的障がい者の慰霊及び、葬送等の支援に関する事業」という合同墓の建立計画がスタートしました。29年、事業を中心になって進められていた奈須野会長がご病気のため急逝されるという悲しい出来事がありました。

翌年、平成30年度通常総会において、永代管理料が一括して納入できることが決め手となり、建立場所は真駒内滝野霊園に、というさらに具体化された新事業が承認されました。

当時、2回に及ぶ会員へのアンケート調査では、希望する会員が少数であり、様々なご意見がありました。しかし、「親なきあとの不安」は、どの会員も強く感じています。慎重で粘り強い議論の結果、当初、建立には育成会の基金を充てることも検討されていましたが、結局、諸費用については希望する会員の負担にするなど、霊園側との調整も含めて8年という歳月を要しました。



希望されていた方々をお待たせする形になりましたが、議論を尽くし、多くの会員の納得、そして理解と協力をいただくことができ、心から感謝申し上げます。

今後、会員の思いの詰まった、育成会合同墓「共に」を安定して運営していくため、育成会活動により一層、邁進していく所存です。また、皆様には、これからも育成会を支えていただきますようお願い申し上げます。

(長江 睦子)

第17回 本人の会全道交流会

ひろげようみんなのわ in 帯広

コロナ感染症の影響を受け、取り組みの中止や動画による「DVD交流」を経て、昨秋、深川市において3年ぶりとなる現地開催を実施。133名もの参加者が地域の自然や深川特産の米をテーマとした様々な体験に挑戦しました。中でも参加者全員による「ズンバダンス」「やさしいソーラン」は大きな感動を呼びました。

今年は、さらなる仲間づくりのきっかけに、なってほしいと、会場を帯広市に移し、実行委員会（帯広市手をつなぐ育成会）による準備が進められています。

日時：令和5年10月22日(日)

会場：10時10分(開会式)～13時50分(閉会式)
帯広市グリーンプラザ

テーマ：「帯広を楽しく！体験コース」

体験コース

①フィットネス運動

②アート作品制作

③十勝観光（ばんえい競馬場見学）

参加費：1,000円

当日会場にて徴収します。

*道育成会HPに開催要綱、申し込み用紙UP中

今後の予定

9月4日(月) 事業所協議会 第2回役員会

12日(火) 道育成会 第3回理事会

28日(木) 小樽大会 第5回実行委員会

知的障がい児者・自閉症児者の 生活サポートは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事事故対応費用補償

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102
レジディア大通公園2F

TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL: 011-204-7510

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階

北海道手をつなぐ育成会内

TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2022年12月現在の内容です。(D-006318 2024-03)

知的障がい・
発達障がい、
ダウン症、
てんかんの有る方、
ご家族に

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの



あんしん保険

少額短期健康組合保険(無償特約) 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの



こども傷害保険

権利保護補償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート



このようなお困り事に
心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」「東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-T06633】

0120-322-150

平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く

URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階

TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523



弁護士が
全面的に
サポート

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7(4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

特定非営利活動法人 余市はまなす 就労継続支援B型事業所

〒046-0025北海道余市郡余市町富沢町11丁目32-2

電話 (0135)22-5242 FAX (0135)48-6030

Eメール bz642719@bz01.plala.or.jp

はまなすの特徴 自分の事は自分で決める! 伝える!
やってみる! 楽しく、自分らしいを目標に!

★主な作業

- ☆段ボール箱折り、のり貼り
- ☆りんごパイ等の菓子製造
- ☆果物加工
(ジャム製造)
- ☆塩蔵品(梅漬等)製造
- ☆貸布団のクリーニング
- ☆農作業
- ☆廃油石鹸製造

